

集会決議

私たちは、防衛省沖縄防衛局による東村高江での在沖米海兵隊のヘリパッド建設工事強行に強く抗議する。

日本政府とアメリカ政府は、ただちに高江での米軍ヘリパッド建設計画を中止すべきである。

建設に反対する住民・支援者には力づくで押しつけて、工事を強行することは絶対に許されない。

建設現場ではダンプカーで大量の土嚢が運び込まれ、チェーンソーで樹木が伐採されている。抗議する住民の頭越しに砂利の入った土嚢を投げこむのは危険だ。絶対にやめるべきである。

高江周辺は天然記念物であるノグチゲラやヤンバルクイナなど多くの固有種が生息し、生物多様性に富む「やんばるの森」は世界でもまれにみる豊かな環境にある。

切り倒される樹木は嘆いている。鳥たちも現場には近寄れないで困っている。

防衛省・経理装備局では「強制排除はしていない。3月からは『重機など音の出ること』はしない」と言っている。その際、平然と「チェーンソーは重機ではない」と言っているが、それは大きな音が出るではないか。今すぐにも使用はやめるべきである。トラックも工事のために立ち入るべきではない。そもそも工事関係者は立ち入るべきでない。3月を待たず、すぐにも工事は中止すべきである。

沖縄防衛局は警備会社を雇って「防衛」している。その「警備会社の会社名は言えない」とのことだが、住民は抗議しているだけで妨害はしていない。警備会社の防衛は不要なはずだ。無駄な費用支出はやめるべきである。

2011年2月25日

工事の強行をやめさせよう/沖縄・東村高江のヘリパッド基地建設抗議
2・25集会参加者一同